

性のはなし

子どもに伝える

どうしよう どうこたえる？

「赤ちゃんはどうやって生まれるの？」「生理ってなに？」—。子どもからの突然の質問に、どう答えればいいのか悩んだことはありませんか？ 性の話をどこまで、どう伝えるべきか、不安を感じる親は少なくありません。そんなリアルな声を基に、家庭でできる性教育のポイントや専門家のアドバイスを紹介します。

熊本市の

20～70代の404人に聞いたアンケート結果

※はあもにいフェスタ講演会参加者・熊本市 LINE アンケート他

Q1 小学生に対する性教育についての
必要性や重要性、どう考える？

- 1位** とても重要 **54%** **約9割**
2位 必要だが難しそう **38%**
3位 学校で教えてほしい **6%**
話題にしたいくない **1%**



Q3 子どもが性について質問した場合、
どのように対応している？

- 1位** 年齢や理解に合わせて **70%**
回答している
2位 率直に正直に答える **17%** **3位** 困惑しつつも答える **7%**
困惑して答えられない **3%**
質問をそらす **2%**



Q2 性教育を家庭で教えることに
どの程度意識を持っている？

- 1位** 機会があれば **35%**
教えたい
2位 日常的に取り入れようとしている **32%**
3位 重要と感じるが行動には
移していない **30%**
あまり意識していない **3%**



多様な価値観の中で性を「話せる」社会へ

アンケートでは、多くの人が性教育の重要性を認識しながらも、「伝え方が難しい」と感じていることが明らかになりました。「家庭で取り入れたいが、実践は難しい」との声も多く、学校に頼りたいという意見も見られます。また、子どもの質問に戸惑う保護者も多く、親世代の学び直しの必要性も示唆されました。

ネットの性に関する情報への不安や、親と異なる性別の子への対応に悩む声も寄せられています。子どもが性について正しく学び、自他を尊重する社会を築くためには、学校だけでなく家庭での学びも大切です。性教育をタブー視せず、親子の信頼を深める環境づくりが求められています。

専門家に聞く

家庭でできる性教育のススメ

自分で選ぶ・決断する力を

性教育は特別なものではなく、日常の中で少しずつ伝えていくことが大切です。幼少期には、「自分の体は自分で守る」という意識を育むことが重要。プライベートゾーン※下記イラスト参照を伝え、「自分で選ぶ・決断する力」を培っていくことが求められます。子どもの疑問には、頭ごなしに否定せず、年齢に応じた説明を心がけましょう。

高学年から思春期にかけては、体や

心の変化に寄り添いながら、親子で性について話す機会を持つことが必要です。こういった話題は一度きりではなく、繰り返し対話を続けることが大事。子どもが正しい知識を身につけ、自分や他者を大切にする意識を育むことにつながります。

話を聞いた人



せいしとらんし熊本
理事長 中村 和可子さん

あらゆる年代を対象に性教育講座を開き、命の誕生や自他の尊さを伝えるとともに、性犯罪予防の啓発に取り組む。また、法人認定の性教育講師の育成にも力を注いでいる。

せいしとらんし熊本 検索

幼少期～小学校低学年編 「自分を大切にする力」を育てる性教育

Point

自分の体を自分で守る

体のどの部分も大切だと教えましょう。例えば、お風呂で「体は自分で洗おうね」と促し、親は手助けする立場であることを示します。

自分で決める力を

子どもの選択を尊重し、「どの順番で体を洗う？」など日常の中で、自分で決める経験を重ねていきましょう。

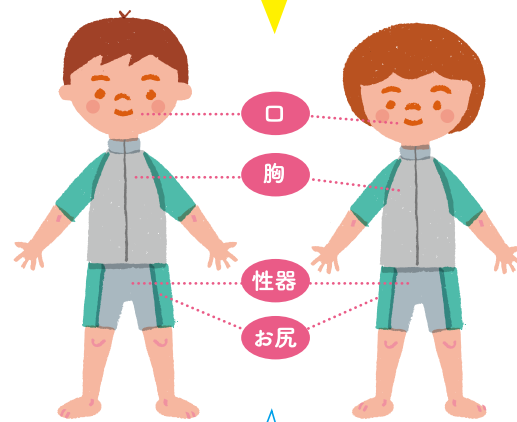
「ダメ」を避けて

性に関する好奇心を頭ごなしに否定せず、「人前では見せないようにしよう」などと平常心で伝えましょう。

楽しい学びに

絵本やぬいぐるみを使って、性教育を自然に伝えましょう。「教え込む」のではなく、親子で楽しく学びます。

プライベートゾーン※



他人に見せたり触られたりしないよう、
繰り返し伝えることが重要です。

小学校高学年～思春期編 「知ること」と「話すこと」が大切

Point

親子間であっても「同意をとる」ことを家庭の中の習慣にしましょう。



「嫌だ」「やめて」を言える力は、子どもの心と体を守る上で大切なことです。

月経や射精を伝える

生理用品の片付け方や下着の洗い方など、具体的な対処方法まで伝えましょう。成長の証であることを自然な口調で話すことが大切です。

性行為について
話し合う機会を

ドラマのラブシーンや性被害のニュースを見たタイミングで、相手の気持ちや身体を尊重することについて話し合ってみましょう。

ネット情報との距離感を

インターネットで性に関する情報に触れる可能性が高まる時期。家庭でのルールは子どもと一緒に考えて作ることがポイントです。

家族間の同意を練習して

家族内で「嫌なことは嫌と言う」「お願いするときは相手の気持ちを確かめる」など、日常生活で同意を意識した関わりを実践しましょう。